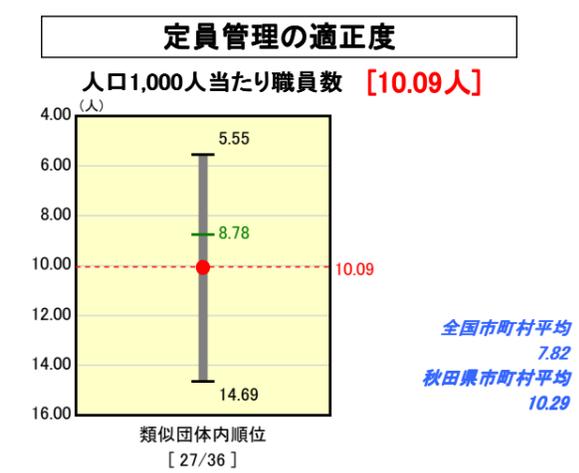
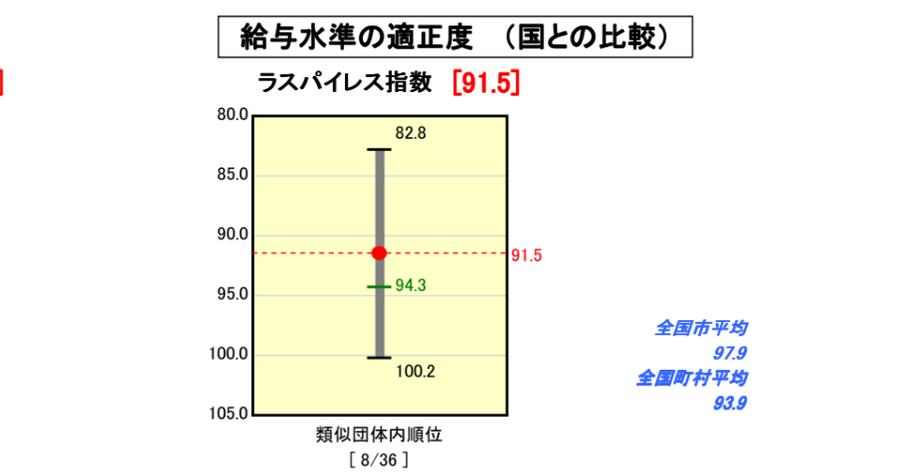
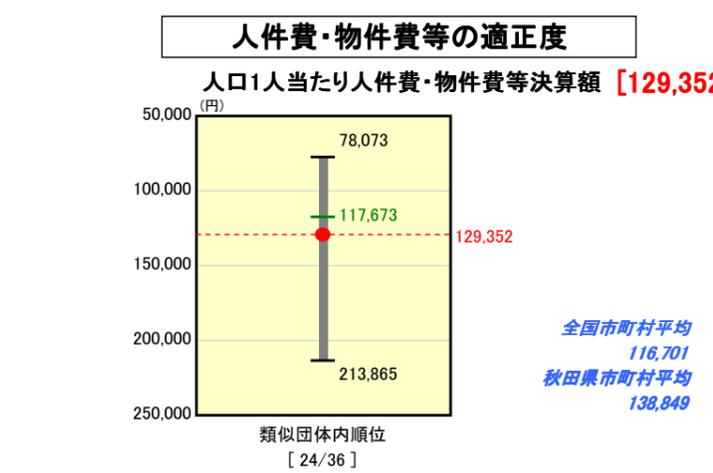
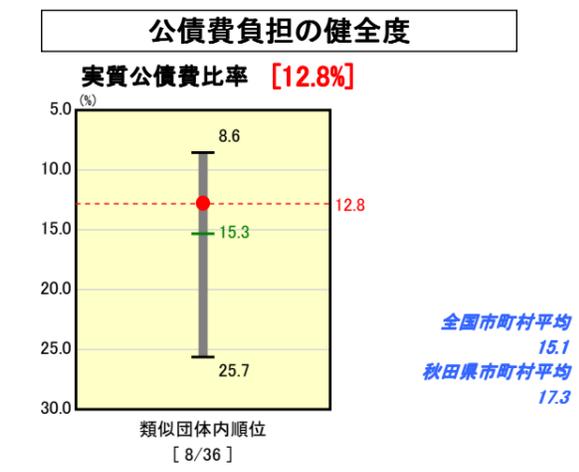
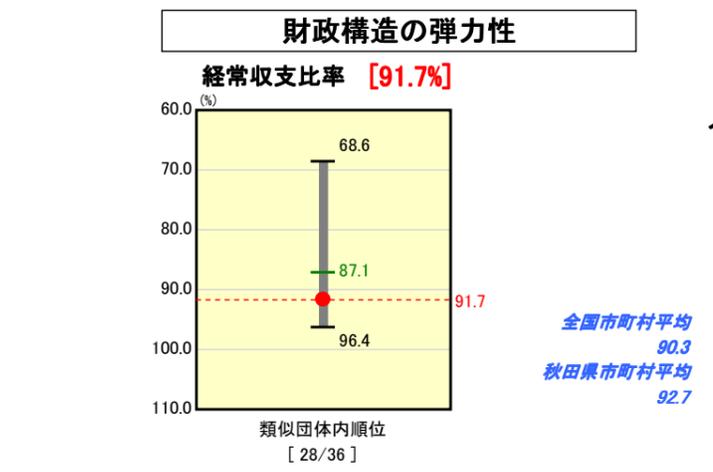
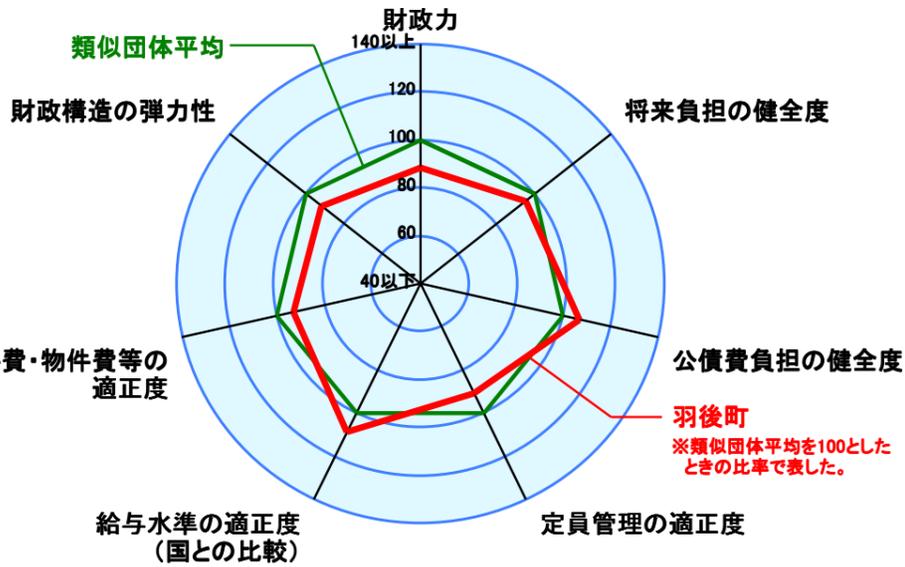
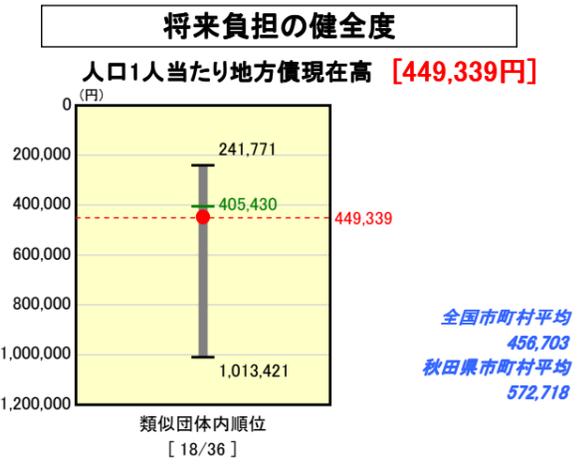
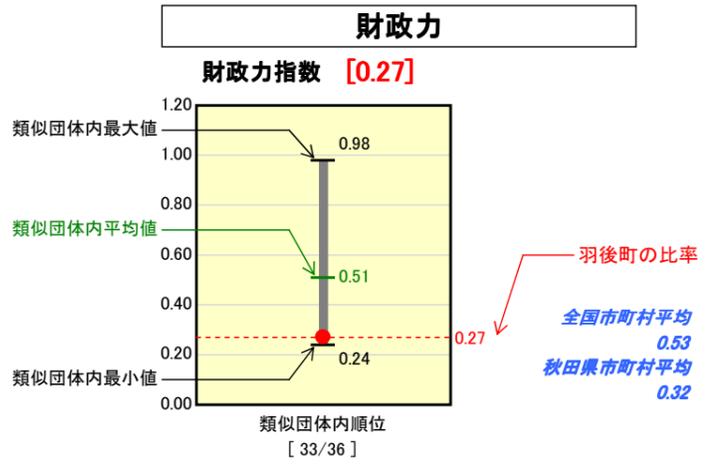


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

秋田県 羽後町

人口	18,440	人(H19.3.31現在)
面積	230.75	km ²
歳入総額	7,189,626	千円
歳出総額	6,891,966	千円
実質収支	280,089	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

◎財政力指数 人口の減少や高齢化の進展に加え、基幹となる地場産業がないため、町税など自主財源に乏しく、財政力指数が類似団体平均を下回っている。町内企業の育成や、企業誘致の推進、農業生産の活性化などの方で、行政の効率化を図り、財政の健全化を努める。

◎経常収支比率 現在、第2次行政改革大綱により経常経費の削減を図っているが、歳入の40%以上を占める地方交付税の動向に影響されやすく、類似団体の平均値よりは現在下回っているものの、今後も行政改革を強力に推進していく。

◎人口一人当たり地方債残高 大型プロジェクト事業が続いたことや、臨時財政対策債の借入などにより地方債残高が平成16年度から80億円を超えている。全国及び秋田県市町村平均より下回っているが、新規地方債を抑制し、将来負担の軽減に向け努力していく。

◎今後の対応 第2期行政改革大綱に基づき、行政改革を推進中である。
 ・職員採用をここ数年行っていない(平成18年度に職員定数を50人減とした)
 ・小学校の統廃合(13年12校、14年11校、16年9校、17年8校、18年7校、20年6校)
 ・保育所の民営化(認可保育所5施設で民営化、17年度2施設、19年度3施設)
 ・学校給食調理等業務委託(20年度から)
 ・下水道事業の加入率向上(高齢者住宅の加入者分担金の負担軽減)
 (住宅排水設備改造費の一部助成)

町の活性化対策の実施
 ・定住促進条例の制定(町外からの定住者や住宅建築者等に補助金交付)
 ・新規起業者に補助金交付

20年度に第3期行政改革大綱を作成し、引き続き行政改革を推進していく。